

はじめまして

## 子どもたちに 「おはなし」を届けたい



### 活動の原動力は子どもたちの豊かな反応

はじめまして。NPO 法人桐生おはなしの学校を紹介します。

「おはなしの学校」が発足して 13 年経ちました。平成 12 年に「全日本語りの祭り in 桐生」が開催されたことを契機としています。私たちは、語りの文化の普及を目指しながら、次世代を担う子どもたちに語り継がれた「おはなし」を届けたいという願いのもとに活動しています。

「語り」は伝承の民話に代表されますが、広くは文学作品の朗読、読み聞かせ、紙芝居、落語、講談、腹話術、エプロンシアター等、いろいろあります。

「おはなしの学校」は、語る人、聞くのが好きな人、読み聞かせ等を通して子どもたちに何かしてあげたい人、これらの活動を支援してくださる人によって運営されています。

平成 13 年度より、桐生市立図書館主催によ

る「桐生に伝わる民話を聞こう」(注※)という事業が始まりました。現在桐生市には小学校が 18 校あります。1 年間で 9 校を訪問し、2 年間で全ての小学校を回れるようにとスケジュールを組んでいます。1 年生から 6 年生まで、その学校の希望に添うような形で語っています。低学年の子どもたちには語りだけでは難しいので、紙芝居やパネルシアターなど、目で見て楽しめるようなものになっています。

子どもたちはどの子も真剣な眼差しで聞いてくれます。ハラハラドキドキする場面では息を呑み、ホッとする場面では安堵の表情を見せます。子どものそんな可愛らしい様子を目の当たりにすることが、また語りたいという原動力となっているのです。

※河童とアメ玉、天狗の力くらべ、折り石の十三塚、金八地藏、送り狐、如来堂の由来など多数

## 市民に向けて講習会も開催

「おはなしの学校」では広く一般の市民の方々に向けて読み聞かせ講習会や、紙芝居講習会なども開いています。語りは難しそうだけど、読み聞かせならばできそう、と言う方がたくさんいます。そんな方々に今年度6月～8月にかけて講習会を行いました。

絵本作家とよたかずひこ氏を招いてのお話を皮切りに、群馬県読み聞かせグループ連絡協議会会長の寺澤敬子氏による実践的な講習会をし、まとめとして実際に子どもたちに1時間のお話をしました。「おはなしの学校」会員の中には、別のグループに所属して読み聞かせ活動をしている方が大勢います。「おはなしの学校」では、読み聞かせの基本を皆さんに学んでいただき、読み聞かせ活動に活かしていただきたいと思っています。

## 語りや読み聞かせは子どもたちの心の栄養

子どもたちにとって、語りや読み聞かせは心の栄養となります。お話の中の世界はいろいろなことが起こります。そんな時、主人公はどんな行動をしたのか、どうやってピンチを切り抜けたのか、実際には体験できないことが疑似体験として経験できるのです。その手助けをするのが私たちなのです。語りや読み聞かせは、テレビやゲームのように一方通行ではありません。子どもたちとアイコンタクトをとりながら話を進めていくことができます。それこそが子どもたちの生きる力となるのです。子どもの読書離れが叫ばれてから久しいですが、私たちは語りや読み聞かせを通して、未来ある子どもたちの健やかな成長を願っています。

(NPO 法人桐生おはなしの学校  
理事長 三河 昌代)

あなたも一緒に「おはなし」を聞いたり語ったりしませんか？



### 1. 普及活動

「語りってなあに？」と問われるなか、まず「語り」にふれる「場」を設けました。春・桜語り、夏・怖いおはなし会を開催しています。また「フェスティバル」など「おはなし会」「語り」を聞く会を開催しています。

### 2. 支援活動

地域の幼稚園、保育園、小学校、図書館、公民館、高齢者施設などへ出向き「おはなし会」をしています。

### 3. 育成活動

おはなしを語る人、絵本を読む人への講座を開催しています。また、活動会員の資質向上のためのセミナーを開催しています。

#### ・「おはなしの会」

毎月第2土曜日 11時～。桐生市立図書館

#### ・「桐生の民話と紙芝居」

5～11月の第1土曜日。有鄰館洋酒蔵

#### ・「定例会」 毎月第4木曜日

### 11/17（土）有鄰館にてフェスティバル開催

入会受付随時、入会金なし

活動会費 1000円（年間1口）

賛助会員 個人 1口 1000円

団体 1口 10000円

<HP><http://kiryuuhanashi.info/>

<E-mail>[eyoshiko@maple.ocn.ne.jp](mailto:eyoshiko@maple.ocn.ne.jp)